

令和8年度学校自己評価シート(本庄第一中学校)

目指す学校像 (ミッション)	学園理念「賢生」 ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと豊かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力ある学園を築きます。 教育方針 ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心をもち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は互いに人間関係を築きながら、礼節を重んずる。 教育目標 「高い学力の養成」「人間力の育成」「希望進路の実現」
本年度の目標	1 向上心をもち、互いに高めあふ集団の育成 2 地域社会から期待と信頼を得られる環境づくり(説明会・体験入学会の充実・地域への貢献) 3 「折れない心」「負けない体」「チャレンジし続ける精神力」を有した、愛され必要とされる若者の育成

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化の兆し (4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、また個々に意見を頂き、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員等)	名
生徒	名
事務局	名

※目標欄は本年度の目標欄と対応させている。

学校自己評価		年度目標		年度評価(令和9年3月31日現在)		学校関係者評価	
年次	課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	実施日令和9年5月末日 学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者からの現状の評価に満足せず更に高い評価を目指す。 復習テストや定期テストだけでなく、外部模試においても生徒各位の目指す結果が出せるようにする。 学年間で基礎学力・学習意欲だけでなく、進路への関心に差異が存在する。 	進路実現への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 授業内外での生徒各位への語りかけを増やし、本校への帰属意識・学習意識改革を促す。 模試は定期テストより学習範囲が広がるため、現状よりも早めの1ヶ月前から対策を実施し始める。演習時には、模試過去問題や類題を取り入れるなど、『問題への慣れ』を強化していく。 定期的に各家庭へ、生徒各位がより学習へ取り組むように声掛けて頂くという旨の連絡を入れる。 併設の本庄第一高等学校へ協力を仰ぎ、早い段階から継続的にキャリアガイダンスを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが主体的に生き生きとした生活を送り、学校生活への満足度が高いか。 継続的に復習テストを実施した結果、十分な学力定着が図れ、主体的な学びの姿勢が育成できたか。 模擬試験結果において各自の偏差値平均のアップが図れているか。 進路を意識した活動を生み出す効果的な指導を行えたか。 各生徒の進路目標を実現することができたか。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 成績を左右する家庭学習の継続的な実施と質の向上。 生徒成績向上を意図した計画的な授業・課題指示。 外部模試で個々人の能力に応じた結果を出せる指導。 	授業改善の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化を徹底する為、アプローチ法の工夫・声掛けを継続し、保護者の協力も仰ぎ、教・生・保のトライアングル関係を強化。 体系的に生徒の学力アップにつながる効果的な指導を展開できるように、学級担任・教科担当・学習指導員の打ち合わせを継続して実施。 各授業内での演習時に過去問や類題を実施し『問題慣れ』を強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として提示した復習課題の提出状況は十分だったか。⇒復習テスト実施結果の数値 生徒の授業に臨む姿勢や反応は良かったか。 教員の授業準備や授業運営は質の高いものであったか。 授業に対する満足度は高まったか。 外部模試等において、生徒各位の成績向上が見られたか。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 本校の取り組みに対する認知度を高め、地域のみならず広範囲で高い評価を得ること。 在校生保護者のみならず、地域社会や入学希望者が行事等で多く足を運べる広報活動の策定。 教育理念や学園取組みについての理解深化の仕組みづくり 地域社会との繋がりの充実と交流機会を更なる増加 	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生きとした生徒の活躍と教職員の熱意ある取組みを、地域社会にPRすることを目的とした広報活動の充実。 小学生向け行事(オープンスクール/学校説明会/学習会等)の開催と事前周知。 保護者を対象としたオープンスクールの開催やPTA活動の充実。 地域からの講師を招いた特別講座の実施や学校開放の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページおよびInstagramおよびTikTok等の閲覧数増加。 小学生向け行事(オープンスクール/学校説明会/学習会等)への参加者数増加と参加者からのフィードバック。 保護者向けイベントへの参加者数増加と学園の取り組みに対する参加者からのフィードバック。 生徒の視野の広がりや地域社会への能動的な働きかけ(地域イベントへの参加や奉仕活動等への参加) 			
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・小学生・地域へ、生徒の活躍や活動、学校の取り組みなどの積極的な情報提供。 学校の考え方、計画、実際の諸活動の周知。 生徒募集行事への参加者を募る。 	生徒募集広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 「本庄第一通信」を発行。 様々な媒体(ホームページ・Instagram・TikTok・LINEなど)を通じて認知度を高め、各種イベントへの参加促進のために効果的な情報発信を行う。 オープンスクール・学校説明会・入試対策講座等の生徒募集行事の機会を活用し、本校の理解・認知度向上に繋げる。 ホームページ・各種SNSを活用し、生き生きとした生徒の学校生活の様子・活躍をタイムリーに発信し、本校の教育活動をPRする。 部活動などをはじめとした生徒の活躍の様子を各種SNS等を利用して、幅広く情報を発信し、各分野で興味をもってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに「本庄第一通信」が発行できたか。 様々な媒体を通じての効果的な情報発信ができたか。 オープンスクール、学校説明会、入試対策講座の参加者数が昨年比増となったか。 ホームページ・各種SNSの情報を適宜更新し、学校生活の様子や、生徒の活躍を解りやすく知らせ、本校の教育活動をPRすることができたか。また、閲覧者が増加したか。 校務支援クラウドシステムを利用した情報発信ができたか。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 何事にも積極的に取り組む向上心と自立心を有する生徒の育成を図る。 場面に応じてふさわしい振る舞いのできる生徒の育成を図る。 健康で安全な中学校生活にふさわしい基本的な生活習慣の徹底を図る。 スマートフォンやインターネット等を利用する際のネットリテラシーの向上を図る。 他者との関わりやコミュニケーションについて学び、いじめの未然防止に努める。 保護者から自立し、自らの力で未来を切り開く自立した人間の育成を図る。 	部活動や生徒会への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動(委員会活動を含む)への主体的な参加を促し、他者へ貢献する姿勢や協調性、自律的に行動する力の育成を図る。 体育や部活動、学校行事などの校外活動を通して継続力を養い、目標設定と達成に向けた実践力、そして挑戦し続ける姿勢を育む。 教員による日常的な声掛けを通して、挨拶や学校の規則を確実に守ることのできる生徒の育成を目指す。 生徒会および各委員会が中心となり、挨拶運動を推進する。 いじめ防止基本方針に基づいた継続的な取組を実施する。(いじめ実態把握アンケートの実施(年3回)、学校生活アンケート(年2回)、いじめ防止キャンペーンの実施等) 情報モラルや安全意識の向上を目的として、情報セキュリティ講座や防犯講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や生徒会活動を通じて積極的に物事に取り組むことができるようになったか。 身だしなみ、言葉遣い等指導が必要な生徒がいたかどうか。 スクールバス・電車などの乗車マナーが守られたか。 場面や個々の発達段階に応じた教員からの声掛けの徹底ができたか。 生徒、教員ともに気持ちの良い挨拶を交わすことができたか。 アンケート等の取り組みや教職員の声かけ等啓発指導が徹底しいじめの未然防止・早期発見・早期解決ができたか。 講演会や日々の生活指導等を通してSNSおよびインターネットトラブルを未然に防止できたか。 			

令和7年度学校自己評価シート(本庄第一中学校)

目指す学校像 (ミッション)	学園理念「賢生」 ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと響かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力あふれる学園を築きます。 教育方針 ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心をもち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は共に豊かな人間関係を築くため、礼節を重んずる。 教育目標 「高い学力の養成」「人間の育成」「希望進路の実現」
	本年度の目標 1 高い学力をもち、互いを認め合う集団の育成 2 地域社会から期待と信頼を得られる環境づくり(説明会・体験入学の充実・地域への貢献) 3 「折れない心」「負けない体」「チャレンジし続ける精神力」を有した、愛され必要とされる若者の育成

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、定めた各々
意見を頂き、学校自己評価結果を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員等)	名
生徒	名
事務局	名

※番号欄は本年度の目標番号と対応させている。

年度目標		学校自己評価		年度評価(令和8年3月31日現在)		学校関係者評価 実施日令和8年5月末日	
№	課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	○生徒各位が将来を見据えた進路選択ができるよう日々のやり取りの中で意識改革を行う。 ○上記目標設定を果たすための具体的方策を各人に考えさせ、確認し改善の促しを行う。 ○授業・復習課題・演習を通し、反復学習を徹底し基礎学力の定着度を高め、演習力を身に付けさせる。	○生活指導・学習指導・行事等、学校生活の様々な場面で一人ひとりが自らの将来を想像し、進路実現に向けて主体的に取り組む環境を継続的に創出する。 ○基礎学力習得に向け、授業内容について理解・定着させるため課題を提示し家庭学習を習慣化する取組みを行う。 →復習課題の定着度を復習テストで確認 →未定着内容を再度学習する流れを徹底 ○希望進路獲得に焦点を絞り、1・2年次より高校入試を意識した演習授業を行う。3年次年は解答時間・問題を解く順序・各問題への時間配分を意識し問題を解く、また解答スピードをあげる演習授業を実施。 ○生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かい進路指導の実践。	○一人ひとりが主体的に生き生きとした生活を送り、学校生活への満足度が高いか。 ○継続的に復習テストを実施した結果、十分な学力定着が図れ、主体的な学びの姿勢が育成できたか。 ○前年実施の模擬試験結果と本年度の実績を比較し、各自の偏差値平均のアップが図れているか。 ○進路を意識した活動を生み出す効果的な指導を行えたか。 ○各生徒の進路目標を実現することができたか。	○授業アンケートや保護者とのやり取りから目標は概ね達成できた。 ○復習テストの実施・不合格者への後追いを実施できた。 ○模試結果の伸長には学年間で差が生じた。 ○3年生の進路結果については、ほぼ希望に沿うことができた。	○現状の評価に満足せず更に高い評価を目指す。そのために、授業内外での個々の生徒へのアドバイスを増やし、更なる意識向上を促す。 ○模試のように範囲が広いテストとなる、通常の復習テストや過去問演習では奏功することが難しい。また水・金の7限時に部活動を選択している生徒の演習時間確保も同様難しい。したがって現状と進路間から徐々に実施していた対策を1ヶ月前から実施始める。 ○学年間で希望進路自体の差異も存在する。併設の本庄第一高等学校への進学を促すとともに、上記策同様、早め早めの対応を行っていく。		
	○家庭学習習慣化の徹底、また徹底させるためのアプローチ法の工夫。 ○学習に対する更に意欲的な取組みへの動機付けと個々の目標とする学力獲得を実現できる指導方法の創出。 ○生徒の理解度を高める授業の実践および実力定着のための学習サイクル作り。	○学習内容定着のため、家庭学習の習慣化を徹底する。アプローチ法の工夫・声掛けを継続し、保護者の協力を仰ぎ、教・生・保のトライアングル関係を強化し、面談等で進捗確認をする。 ○体系的に生徒の学力アップにつながる効果的な指導を展開できるよう、学級担任・教科担当・学習指導員の打ち合わせを継続して実施する。 ○授業アンケートの実施により授業者の目的達成度を確認、次の課題を明確化し改善点を確認する。	○家庭学習として提示した復習課題の提出状況は十分だったか。 →復習テスト実施結果の数値 ○生徒の授業に臨む姿勢や反応は良かったか。 ○教員の授業準備や授業運営は質の高いものであったか。 ○授業に対する満足度は高まったか。 ○外部模試等において、生徒各位の成績向上が見られたか。	○教員間の協力もあり、課題回収については目標を達成することができた。 ○上記同様、教員間で綿密な打ち合わせを継続的に行うことができた。 ○授業に対する満足度はアンケート・生徒表情からも見取れた。 ○模試等の結果については学年間で差が生じた。	○授業内容の精査と共に、家庭学習の継続的な実施が生徒成績の向上を左右する為、最優先事項という意識で臨む。 ○教員間の綿密な打ち合わせ、生徒成績向上を意識した授業・課題指示を継続する。		
2	○本校に対する認知度を高め、生き生きとした生徒の活躍を保護者・地域社会にPRすることを目的とした、学園ホームページのリニューアルとSNS等を活用し広報活動の充実。 ○在校生保護者のみならず、地域社会や入学希望者が行事等で多く足を運ぶ広報活動の策定。 ○教育理念や学園取組みについての理解深化の仕組みづくり	○学園ホームページや各種SNSを活用し、本校の取り組みや教育活動、生徒の活躍を広く発信する。 ○在校生保護者や家族をはじめ地域の皆様在校生生活の活躍を披露できる機会を計画すると同時に効果的な周知を確保する。 ○時代に即したPTA組織編成と活動内容のアップデートを行う。 ○地域社会への教育理念と指導体制周知および地域貢献を目的とした取組の継続と深化。	○学園ホームページの閲覧数の増加。 ○各種SNSのフォロー数の増加。 ○ホームページや投稿等を媒体とした学校行事やイベントへの参加者数の増加。 ○地域社会への教育理念と指導体制周知および地域貢献を目的とした取組みの継続と深化。	○学園ホームページを活用し在校生保護者、小学生およびその保護者、広く一般へ本校取組みおよび入試情報等を分かりやすく発信することが出来た。 ○本校の知名度アップを狙いとし各種SNSへの投稿に注力した。特に中学学校生活については広報係が中心となりTikTok投稿を頻度多く行った。閲覧数およびフォロワー数を拡大することができた。 ○学園公式HP、TikTok、学園公式および各部署Instagram、小学校でのチラシ配布等の媒体を活用しイベント来場者増加を実現できた。 ○各分野で地域および学園外団体との連携を継続。	○本学園の特色をより明確に発信し、広く支持を受ける学園へと成長を続ける。 ○本校の魅力やストーリーかつ効果的に発信するよう努める。 ○保護者や入学希望者への学校公開日を複数回設け、学校の取組みを広く公開する機会を継続する。 ○地域および外部団体より講師を招き専門性の高い講義を生徒へ提供する機会を継続する。		
	○保護者、小学生、地域への生徒の活躍や活動、学校の取り組みなどの積極的な情報提供。 ○学校の考え方、計画、実際の諸活動を知らせる。 ○生徒募集行事への参加者を募る。	○「本庄第一通信」を発行。 ○様々な媒体(ホームページ・Instagram・LINEなど)を通じて認知度を高め、各種イベントへの参加促進のために効果的な情報発信を行う。 ○オープンスクール、学校説明会、学校見学会、入試説明会、入試対策講座等の生徒募集行事の機会を活用し本校の認知度アップに繋げる。 ○ホームページ・Instagram等を活用し、生き生きとした生徒の生活の様子・活躍をタイムリーに発信し、本校の教育活動をPRする。 ○部活動などをはじめとした生徒の様子を様々なアプリ等を利用し、幅広く情報を発信する。	○計画通りに「本庄第一通信」が発行できたか。 ○様々な媒体を通じての効果的な情報発信ができたか。 ○オープンスクール、学校説明会、入試説明会、入試対策講座の参加者数が昨年比増となったか。 ○ホームページの情報更新頻度、学校生活の様子や、生徒の活躍をわかりやすく知らせ、閲覧者が増加したか。 ○公務支援クラウドシステムを利用した情報発信ができたか。	○計画通りに「本庄第一通信」が発行できた。 ○様々な媒体を通じての効果的な情報発信ができた。 ○効果的な情報発信等により、小学生向けイベントにおいて参加者数の増加に繋げることができた。 ○ホームページを活用し、取り組み及び入試情報をわかりやすく発信することができた。特に学校生活の様子はTikTok投稿を数多く発信した。 ○公務支援クラウドシステムを利用し、イベント参加者への投げかけや受験希望者へ向け効果的な情報発信ができた。	○本校の特色をより分かりやすく、かつ魅力的に地域社会へ発信し、より多くの児童から興味を持ってもらい受験に繋がるよう努める。 ○学習・部活動・各行事における生徒の取り組み活気あふれる学校生活の様子を様々な媒体(学園HP・Instagram・TikTok・LINE・チラシ等)を活用し、広く周知を促す。 ○小学生・保護者が興味を持つような内容、そして足を運びやすい行事運営を心がける。 ○募集行事の内容を精査し、改善を重ね、参加者の増加を図るとともに、参加家庭(保護者・小学生)の満足度を上げる努力を続ける。		
3	○何事にも積極的に取り組める向上心と自立心を有する生徒の育成。 ○場面に応じふさわしい振る舞いのできる生徒の育成。 ○健康で安全な中学校生活にふさわしい基本的生活習慣の徹底。 ○スマートフォンやインターネット等を利用する際のネットリテラシーの向上。 ○他者との関わりやコミュニケーションについて学び、いじめを未然防止する。 ○保護者から自立し、自分自身で未来を切り開く自立型人間を育成する。	○生徒会活動(委員会活動含む)への積極的な参加を促し他者貢献の精神や協調性、そして自律心などを育てる。 ○体育や部活動、校外活動(学校行事)を通して継続する力を養い、目標作成や達成するための力、挑戦し続ける力を育てる。 ○教員からの声掛けなどを通して挨拶や規則がしっかり守られる生徒を育てる。 ○生徒会・委員会を中心とした挨拶運動などを実施。 ○いじめ基本方針に基づいた取り組み。(いじめ実態把握アンケートの実施3回/学校生活についてのアンケート2回/いじめ撲滅キャンペーン実施など) ○情報セキュリティ講座・防犯講座などの開催。	○部活動や生徒会活動を通じて積極的に物事に取り組むことができるようになったか。 ○身だしなみ、言葉遣い等指導が必要な生徒がいたかどうか。 ○スクールバス、電車などの乗車マナーが守られたか。 ○場面や個々の発達段階に応じた教員からの声掛けの徹底ができたか。 ○生徒、教員ともに気持ちの良い挨拶を交わすことができたか。 ○アンケート等の取り組みや教職員の声かけ等啓発指導が徹底しいじめの未然防止・早期発見・早期解決ができたか。 ○講演会や日々の生活指導等を通してSNSおよびインターネットトラブルを未然に防止できたか。	○部活動や生徒会活動において、主体的に取り組む姿が見られた。 ○礼儀や言葉遣いに配慮し、相手を思いやるとともに場に応じた行動ができていた。 ○公共の場において、マナーの向上がうかがえた。 ○生徒と教員が、気持ちのよい挨拶を交わすことができていた。 ○アンケート等を活用し、問題行動を早期に把握することができた。 ○講演会や日常の指導を通して、生徒のSNSやインターネット利用に対する意識が高まり、トラブルは見られなかった。	○素直で明るく、どのようなことにも主体的に取り組む自立心を育てることを継続する。 ○公共の場でのマナーを身につけ、社会に求められる人材の育成を図る。 ○社会生活の基礎となる挨拶や規則正しい生活習慣の継続を徹底する。 ○いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応を徹底する。 ○オンライン上のトラブルに巻き込まれないよう、日常的な指導を継続する。 ○保護者に依存せず、自らの力で未来を切り拓く自立した人間の育成を図る。		